

1. 結果概要

日本下水道協会は、下水道グローバルセンター(GCUS)の事務局としてその活動を支援する様々な業務を行っています。

その一環として、GCUS 活動に対する意見や助言をいただくことを目的に、学識経験者やジャーナリスト、並びに自治体・民間企業等の代表者を委員とする「審議会」を年 1 回開催しており、去る 4 月 19 日に第 3 回下水道グローバルセンター(GCUS)審議会を当会 5 階大会議室において開催しました。

第 3 回となる今回は、楠田座長(北九州市立大学大学院教授)ほか 20 名の審議会委員(代理出席含む)にご出席いただいたほか、GCUS 構成団体等から多数の参加を得て開催されました。議事では、始めに GCUS 事務局の佐伯事務局長より平成 22 年度の活動報告としてサウジアラビアやベトナム、インドネシア、中国でのプロジェクト形成活動の進捗状況や外国政府、関係機関とのネットワーク



づくりの成果について報告しました。引き続き、対応方針調整会議の藤木座長より、平成 23 年度からの GCUS 活動を、

- 1)プロジェクト形成支援
- 2)海外とのネットワーキング・ニーズマッチング
- 3)プロジェクト毎の技術評価(JSC-GCUS-Verification(仮称))
- 4)我が国下水道技術の海外展開に資する国際標準化及び調査・研究

の 4 つの柱に再編すること、また、新たに GCUS 活動の趣旨に賛同いただいた企業を対象とする会員制度の導入を検討することなどについて説明をいたしました。

これに対し、審議会委員からは、海外政府機関・自治体との関係強化やニーズ確認・情報収集等のこれまでの GCUS の活動成果に対して一定の評価をいただいた上で、今後、その成果を具体的なプロジェクト実現に結びつけるための取組みを推進すべきとのご意見をいただきました。また、その過程での日本スタンダードの浸透や知日派人材育成の重要性のご指摘もありました。

GCUS では、審議会での議論やご意見を踏まえて、今後とも世界の水問題の解決と我が国民間企業の水ビジネス国際展開の支援を進めて参ります。

引き続き、会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

2. 配布資料

- ・議事次第
- ・資料－1 下水道グローバルセンター設置要綱
- ・資料－2 下水道グローバルセンター審議会委員名簿
- ・資料－3 下水道グローバルセンターの組織概要
- ・資料－4 平成 22 年度の主な活動・成果報告
- ・資料－5 平成 23 年度活動計画 (案)
- ・参考資料 「自然災害に対する下水道リスク管理の国際専門家会議」企画案資料 1